

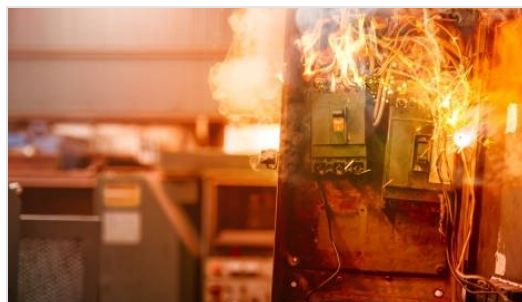
ガス消火 + 自動遮断だけでは足りません。

凝縮エアロゾル・NFPA 2010 | 熱動作トリップ・ANSI 49/26 — どちらも炎と一瞬戦うだけで、燃料には一切手を触れません。



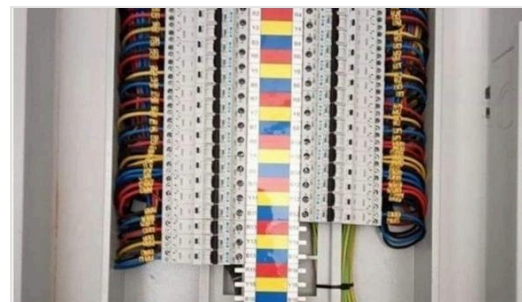
ガス消火設備

エアロゾル発生装置・一発勝負、一つの筐体のみ



放出後

焼損したパネル内部・炭化した配線



EC 7034

パネル内の細い配線に施された半透明コーティング



EC 43

ケーブルトレイ・幹線をコーティング

火災の成立には3要素が必要です — その中で一度も攻撃されない要素が一つあります:

熱

トリップが対処 — ただし時々のみ

炎

ガスが対処 — ただし一度きり

燃料

誰も対処しない — STANVACが登場するまで

1・その2つの防御策は確実に機能しますか？

ガス — 有効なのは次の条件がすべて揃った場合のみです: 消火剤の濃度を保てるよう筐体が密閉されている・センサーが故障点を正確に検知している・発生装置が使用期限内である・高温の銅が再着火しない・火災が実際にその一つの筐体内で発生している。完璧に放出できたとしても、それは**一発勝負**であり、次の故障には空になったボンベが待つだけです。

トリップ — 有効なのは次の条件がすべて揃った場合のみです: 故障がセンサー検知点上で発生している — その間のホットスポットは検知されません・故障の進行がリレーより遅い(アークはミリ秒単位で先行します)・誤動作トリップの後に誰もバイパスしていない・制御配線自体がまだ焼損していない。トリップが成功しても電源を遮断するだけで — **すでに燃えているプラスチックを消火することはできません。**

10の条件。一発勝負。

それは確率であって、防護ではありません。

2・両者が機能しなかった瞬間 — パネルの内部で

ガスは使い切られたか漏れていました。トリップは故障を検知できませんでした。火花はパネル内部の配線 — それ自体が燃料 — に飛び移ります。すべてはただ一つの問いにかかっています: **その配線は燃えるのか？**

EC 7034 — 燃えません。火花は炎を上げない配線の上で消えます。パネル内部配線用・半透明でカラーコードも判読可能・CBRI 120分耐火。**ガスとトリップが機能していない、まさにその瞬間に働きます。**

FBS 73 — あらゆる隙間を密閉: 故障箇所は酸素を絶たれます。エアロゾルを設計濃度に保っているのと同じ密閉性 — **ガスが機能するのはこの密閉性のおかげです。**

DC 52 — パネル自体の塗装が燃料になることを拒みます。

故障が発生したまさにその瞬間に働く3つの防御策 — 起動する必要も、スイッチを切られることもありません。

3・パネルの外側 — 誰も守っていない95%

消火設備の守備範囲はパネルの扉で終わります。その先 — トレイ、トレント、立て管、ケーブルギャラリー — には何の防御もありません。

6分

無防護のXLPEが炎上するまで

95%

のケーブル長が無防護

EC 43 / 耐火継続性 — 幹線用: 延焼を240分阻止・消火ポンプ、警報 & トリップ回路は750°Cの下で240分間機能を維持(IEC 60331-21)

FM-71 + FB-250 — 貫通部用: 2時間耐火の壁 & 床用ファイヤーストップ(UL 1479)

コーティングされた燃料は、もはや燃料ではありません。

お客様のシステムは炎と戦います。STANVACは燃料そのものを取り除きます。インドでは26分ごとに1人が電気火災で命を落としています — 両方を重ねて守ってください。

PCO — パネル・ケーブル・貫通部 — 世界で唯一の電気火災総合防護・1回の調査・1つの仕様・1社の責任あるパートナー・sales@stanvac.com・+91-85271 99811・stanvac.com